

ポイント1

ロードマップの作成

4月に、魅力ある学校・学級の具体について考え、その実現に向け計画を立てます。

▼授業を魅力あるものにする(居場所づくり)

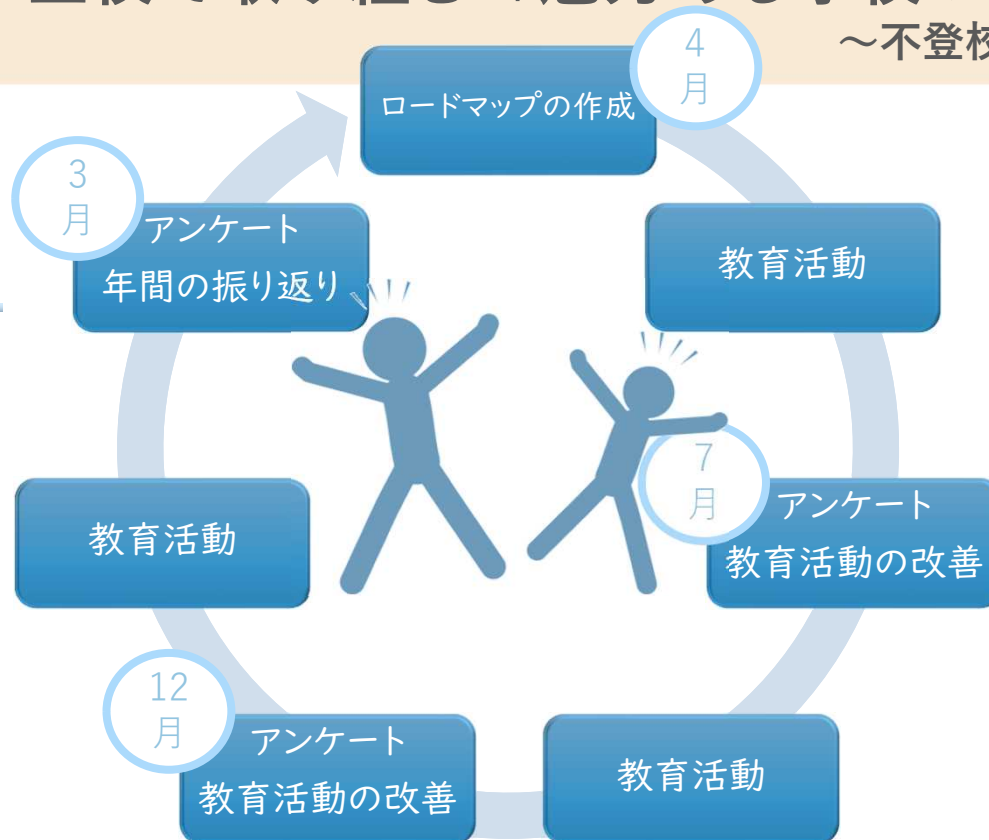


ポイント2

アンケートの実施

年間3回アンケートを実施し、教師の認識と子供の思いの差等を基にリフレクションします。

▼子供が計画・実施する企画の開催(絆づくり)



目的：全ての子供が通いたくなる学校、学級づくりを教職員が楽しく実施し、結果として不登校の未然防止を目指す。

取組：①意図的・計画的な推進を目指し、全教員が魅力ある学校づくりレベルアップセット（福生市）を活用する。

②児童・生徒の声を基に教育活動を点検・改善するため、学校生活満足度調査を実施する。

成果：（教員の声）教師から見た児童の姿と児童自身を感じている思いの違いが明らかになった。

（教員の声）教師の対応・指導が、児童の発達段階に合っているか、全ての児童のためになっているかを考えることができ、児童一人ひとりに声を掛けることが増えた。

教員アンケート「魅力ある学校づくりは大切だと思うか」→そう思う74%、どちらかというと思う24%